

# 四日市市の子どもたちの 学力・学習状況や生活状況は？

四日市市教育委員会

## 1 全国学力・学習状況調査について

文部科学省は、小学校6年生と中学校3年生を対象として、学力と学習状況を調査しています。

今年度は4月18日（木）に実施され、その結果は、すでに9月に個人票（※1）や学校だより等でお知らせしています。

今年度より、A問題（知識）とB問題（活用）の区分が見直され、その内容が一体的に構成される調査となりました。また、中学校においては、初めて英語の調査が実施されました。



（※1）【個人票のイメージ】

調査	調査内容
学力調査	小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語
学習状況調査 「児童生徒質問紙調査」	子どもたちの生活や学習などの意識を調べるもの

## 2 四日市市の子どもたちの学力について

本市の調査結果は、小中学校5教科のうち4教科において、全国平均以上または同等の結果でした。小学校では、算数において、全国と同等の結果となりました。国語は、全国平均を下回る結果となりました。また、中学校では、数学と今回初めての調査となった英語において全国平均を上回りました。国語は同等の結果となりました。

小学校		国語		算数			
		本市	63<8.8>	66<9.3>	66<9.3>	67<9.3>	
	三重県	64<9.0>					
	全国（公立）	63.8<8.9>		66.6<9.3>			
中学校		国語		数学		英語	
		本市	73<7.3>	61<9.7>	58<12.2>		
		三重県	72<7.2>	60<9.6>	56<11.8>		
		全国（公立）	72.8<7.3>	59.8<9.6>	56.0<11.8>		

※平成29年度から、文部科学省の結果提供（平均正答率）は、本市と三重県は整数値、全国は小数値となっています。数値は平均正答率、〈 〉内は平均正答数となっています。

これからの子どもたちには、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、生涯にわたって能動的に学び続けることが求められています。

本市では、各教科において育成する資質・能力を明確にし、児童生徒の興味関心や既存の知識等を踏まえ、問題意識や仲間とともに解決しようとする意欲を喚起させるような問題設定をするなど、授業展開の工夫をしています。



# 四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

## 3 ここがすてき！ここが課題！四日市の子

全国学力・学習状況調査のデータ結果から、小中学校とも全国平均を上回った内容項目が多く見られました。これは、本市の子どもたちの強みとなっています。しかし一方、課題も見えてきています。

ここがすてき！

「〇〇」という子が全国より多い！

### <学習全般>

- 授業の内容はよく分かる。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- 読書は好きである。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

### <自尊感情・規範意識>

- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

### <地域との関わり>

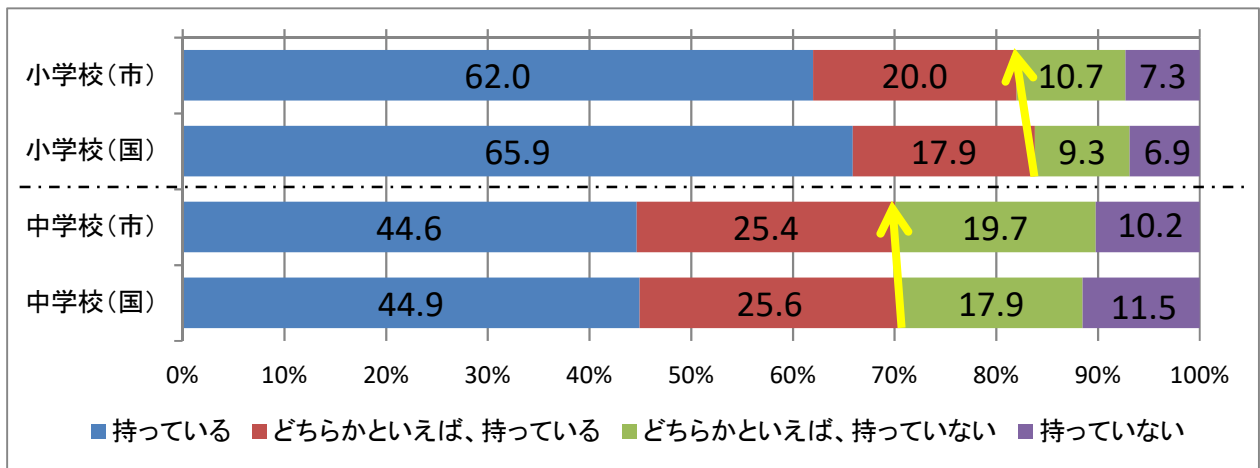
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。

ここが課題！

「将来の夢や目標を持っている」という子の割合が全国よりやや低い！



Q：将来の夢や目標を持っていますか



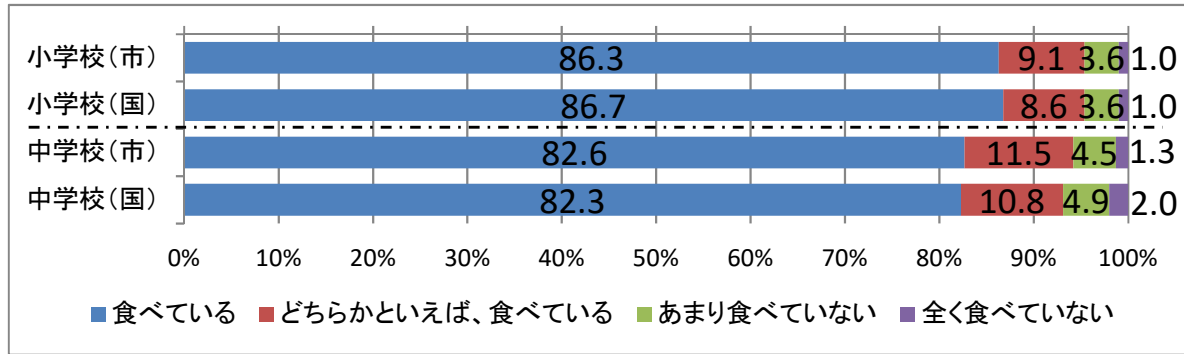
- 将来の夢や目標を持つために、まずは「自分」を見つめることが大切です。「自分がしたいこと」「自分ができること」に気づき、自己肯定感が高まります。
- 将来の夢や目標を持つことは、学習意欲の向上（学習の動機づけ）につながります。なりたい自分像を描き、その実現に向けて「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」を意識しながら学び続ける態度が育ちます。

# 四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

## 4 「生活習慣」と「学力」その関係は？

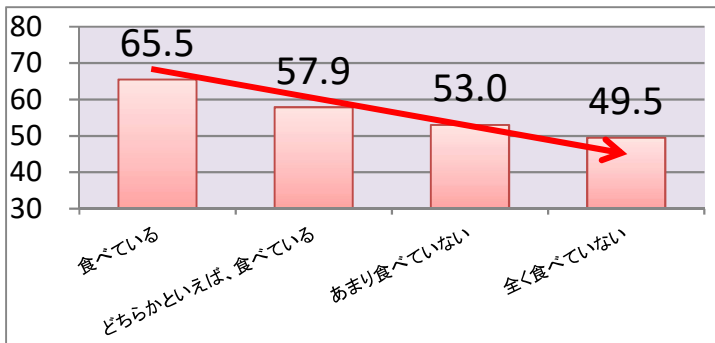
### 朝食

Q：朝食を毎日食べていますか。

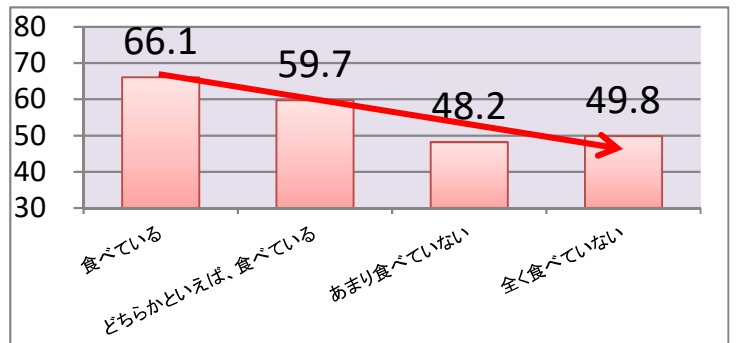


↓ 下のグラフは、朝食と、2教科（中学校は3教科）の平均正答率との関連を示しています。

### <小学校>



### <中学校>



- 朝食を毎日食べていると、平均正答率が高い傾向がみられます。朝食を食べる習慣をしっかりとつくっておくことの大切さが分かります。
- 中学校では、「同じくらいの時刻に寝ている」と回答している子が全国平均よりやや低い結果が出ています。規則正しい生活習慣（「早ね・早おき・朝ごはん」）をつくっていくことが大切です。

### これからも大切にしたいこと

他にも、これまでの全国学力・学習状況調査のデータ結果から、次のような子どもたちの状況が見られると、各教科の平均正答率が高い傾向が見られています。

#### <基本的な生活習慣>

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。

#### <自尊心・規範意識>

- 自分には、よいところがある。
- 学校のきまりを守っている。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 学級みんなで話し合っ決めてしたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。

#### <家庭でのコミュニケーション>

- 家の人と学校での出来事についてよく話をする。 など



# 四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

## 5 今後の全国学力・学習状況調査について

今年度は、中学校で初めて英語の調査が実施されました。

本市では、国が掲げる「中学校卒業時に、英検3級以上相当を習得できる英語力」をめざし、一昨年度から英検I B A（日本英語検定協会）を実施し、生徒の英語学習への動機づけを図ったり、英語の授業改善を進めたりしてきました。

下の表は、調査結果を、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の領域別にまとめたものです。

【領域別の平均正答率（単位％）】

領域	四日市	全国
聞くこと	69.7	67.9
読むこと	55.0	55.6
書くこと	49.9	45.8

「聞くこと」、「書くこと」については、全国平均を上回り、「読むこと」については、同等の結果でした。特に、「聞くこと」については、7割近い正答率でした。これは、就学前から英語の歌を歌ったり、小学校において、英語指導員と会話をして日本語と英語の音声の違い等に気づかせたりといった英語に慣れ親しむ取り組みを、発達段階に応じて進めてきたことが効果として表れていると考えます。

来年度からは、新学習指導要領のもと、小学校3年生以上で英語の授業が本格的に実施されます。本市では、それに先駆け、今年度から小学校3・4年生で35時間、5・6年生で70時間の英語の授業を実施し、学習の充実を図っています。

来年度からは、新学習指導要領のもと、小学校3年生以上で英語の授業が本格的に実施されます。本市では、それに先駆け、今年度から小学校3・4年生で35時間、5・6年生で70時間の英語の授業を実施し、学習の充実を図っています。

今後は、さらに子どもたちが英語を用いて、コミュニケーションを図ることができるよう、指導を進めていきます。

## 6 保護者の皆様へのお願い

本市では、全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえて、平成25年度から各学校において、学力向上のため、以下の4つの取り組みに力を入れています。特に、取り組み1と4は、かなり定着が図られてきましたので、現在は、取り組み2と3に注力しています。

学校では、学習習慣の確立に向け、落ち着いて学習できる環境を整え、よりわかりやすい授業を目指し、授業改善等に努めていきます。



- 【取り組み1】 全国学力・学習状況調査問題の活用
- 【取り組み2】 全国学力・学習状況調査の趣旨等を踏まえた授業改善
- 【取り組み3】 学習習慣の確立と学力補充の充実
- 【取り組み4】 継続的な学びへの取り組み

子どもたちの学力向上や健やかな成長には、日頃の生活習慣が深く関係します。近年ますます所持率が上がってきているスマートフォン等の使い方についても、家庭内でルールを決めるなど適切な使用について話し合いをお願いします。

また、家庭学習では、宿題に取り組むだけでなく、その日に学習したことを反復練習したり、予習をしたりして、学力の定着を図るようにご指導をお願いします。

今後とも、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの確かな学力を培い、健やかな成長を支えてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。